

園名：すぎなみのぞみ保育園

活動日時：2025. 1. 16

1. 活動テーマ

<テーマ>

植物 (カラスのえんどうを探しに行く)

<テーマ設定理由>

種を植えたカラスのえんどうの芽がでてきた。
その種をとったカラスのえんどうがどうなっているか、見に行くことにした。

2. 活動スケジュール

カラスのえんどうをみつけた公園に行き、あった場所を見してみる。

3. 活動の為に準備した素材や道具、環境の設定

散歩リュック
カメラ

4. 探究活動の実践

<活動内容>

園近くの原っぱ公園へ行く。
以前カラスのえんどうをみつけた場所へ行ってみる。
季節がかわりどうなっているかみてる。
カラスのえんどうと名前のにているすずめのえんどうもあるか見てみる。

園のちかくのよく遊びに行く公園だが、広い公園のため行く場所によって景色もちがう。

以前みつけた場所(週に2回から3回くらい行く公園だが奥はいくことが少ない)へいってみると、うっそうとしていた場所がきれいになっている。

「あれ、ないよ」「こちらへんだったんだよね」「切ったね」と、子どもたち。草が刈られ景色がかわっていた。

「なんにもないからちがうことしてあそぼう」

(下をむいてさがしていたので)

「どんぐりおちてるよ」

「枝もある」

と落ちていたどんぐりや枝を集めて違う遊びがはじまった。(どんぐりと葉っぱを集め、枝で炒めて料理をはじめた)

「(カラスのえんどうは)この時期はないんだよ」

「そうか、これからどうなるかな？」聞くと

「春になったらさ、またでてくるよ」とかえってきた。

「そのころはみんな小学生だね」と言う

「そうだっけ？」とこたえていた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

こちらが考えていたよりも子どもたちはないことも草が刈られていたことも受け入れていた。

季節がかわり植物も変わっていることを、日頃遊んでいる公園でこちらがおもうよりも子どもたちは感じている。

いまは姿がみえなくてもまた春になると芽が出てくることをわかっていた。

「卒園までにまたこられたらいいね」というと間があいた。

会話の中で、小学校にあがる期待と不安な気持ちが垣間見えた。